

センター通信

第252号

2007年5月25日発行

名古屋エスペラントセンター Nagoja Esperanto-Centro
461-0004名古屋市東区葵一丁目26-10ユニープル新栄301号
郵便振替 00840-8-40765 [名古屋エスペラントセンター]
<http://homepage2.nifty.com/nagoja-esperanto/>



名古屋エスペラントセンター事務所 Foto：山田義

目次

総会あいさつ	2
総会の報告	2
寄付金明細	3
会計報告	4
東海大会の案内	5
磯部さんの新聞記事	6
編集後記	6

総会あいさつ

山口真一

今年は、横浜で第92回世界エスペラント大会が開催され、日本国内のエスペラント運動がもりあがりを見せています。1965年に東京で第50回大会が開催されて以来、42年ぶりの世界大会でもあります。

私たちは、日本のエスペランティストとして、この大会が成功するよう力を尽くす責務があります。センター維持員のみなさんも、ぜひ大会に参加するのはもちろん、ボランティアとしても協力をしていきましょう。

それと共に、地道な地方の活動にもセンターは協力していかねばならないと思います。本来、センターはエスペランティストに対するサービスを提供するのが目的ですが、それが可能なのは、一定数のエスペランティストが存在し、会を作って活動している、という条件があってこそです。現状をみると、日本各地でのエスペラント運動のもりあがりにもかかわらず、当地では立ち後れを認めないように思われます。なんとか創意工夫して、地方の運動の発展に貢献していきたいものです。

そして、夏には、世界大会前後に大勢の外国エスペランティストと交流する機会があります。彼らにセンター事務所を見てもらいましょう。名古屋にはこんなにすばらしい事務所があるんだ、という見聞をしてもらい、本や資料の贈呈をとおして、海外との交流の輪を広げていきたいものです。

総会の様子

2007年度の名古屋エスペラントセンター維持員総会は名古屋エスペラントセンター事務所で、3月17日(土)午後2時の定刻から30分遅れて開かれました。議長は鈴木善彦さん。出席者7名でした。

2006年度の報告

会計担当の鈴木さん

別ページ参照。

出版会担当の山口さん

6名から出資金が出版会への寄付された。Zamenhofa Ekzemplaroの海外贈呈など、別ページ参照。

蔵書担当の猪飼吉計さん

今は活動が停滞している。

企画担当猪飼吉計さん

Lydiaさん歓迎会／ブラジルと日本100年の講演会／Zamenhof-Festoなど参加者人数はあとで報告すること。そのときの会計は2007年度で処理したい。

講習会担当黒柳吉隆

3月まで7名で毎週1回。3月以降は講習生はNECに入会し、自主学習会として月2～3回続いていることが報告された。

「通信」編集の山田義

247号から250号まで発行した、ホームページでの掲載は作業中である。

ホームページ担当湯浅典久

98年開設後、06年にリニューアルした。

今年のこと

UKのアジア招待にどう関わるか、東海大会の準備状況を豊田エス会の黒柳吉隆さんから聞く。東海Esp連盟規約改正については月例の委員会で詰めることとした。

寄付金明細 (出資金をそのまま出版会に寄付)

山田義	5,000	浅野信久	5,000
大磯英雄	5,000	峰芳隆	5,000
梅田善美	5,000	伊藤俊彦	10,000
鈴木善彦	10,000	千賀郁夫	10,000
豊田元樹	10,000	山川修一	10,000
清水孝一	10,000	市岡邦子	20,000
東海林敬子	30,000	林和治	35,000
水野義明	300,000	森田明	560,000
		以上合計	1,030,000

Zamenhofa Ekzemplaro 海外贈呈のための寄付

カッコ内は口数 (1口=5000円)

安藤悠志 (1) 石野良夫 (1) 河瀬薫 (1) 後藤斉 (1) 小林司 (1) 荻原洋子 (1)

前田米美 (1) 梅田善美 (1) 清水孝一 (1) 大庭篤夫 (2) 山本修 (2)

鈴木善彦 (2) 森田明 (50)

2006 年会計報告

会計:鈴木善彦

2006 年の収入・支出・借入金は次のとおりである。

収入

2005 年繰越金	2,187,416
会費	684,000
寄付	45,617
その他	116,017
小計	845,634
鍵使用料(2人)*	20,000
計	3,053,050

支出

家賃	428,400
共益費	151,200
保証協会	1,250
電気代	82,539
切手代等(郵送代)	66,100
用紙・文具類	9,978
手数料	3,615
その他	84,709
小計	827,791
2006 年繰越金	2,225,259
計	3,053,050

借入金

借入金	図書部	700,000
	天風基金	300,000
	オルキートイ	191,955

2006 年繰越金内訳

郵便振替口座	680,089
現金	26,250
郵便貯金	725,774
天風基金	793,146
計	2,225,259

2006 年の収入支出の主な概要

○ 繰越金：

2006 年は繰越金が前年度からの 2,187,417 円から次年度への 2,225,259 円と 37,843 円増加した。これは例年と比較して、1 月の会費収入が大きかった（前年 12 月の会費収入が少なかった）ことによるものであり、赤字体質から脱却したわけではない。

○ 12 月のザメンホフ祭に合わせてメネゼス氏による市民公開講演会を行い、愛知県から補助金をいただきましたが、2007 年度の会計(収入)となっています。

○ 寄付：

2006 年中の寄付は右欄のとおりで、45,617 円であった。寄付していただいた方にはあらためてお礼申し上げます。

委員会等	3,325
豊田元樹①	8,000
大磯英雄(Z)	5,000
市岡邦子	3,000
林和治	4,000
三石清	2,000
鈴木善彦	1,292
豊田元樹②	8,000
伊藤良子	1,000
黒柳吉隆	10,000
計	45,617

○ 鍵所有者：

2006 年中に石原松生氏、山口紘一氏のお二人が新たにセンターの鍵所有者となっただけでした。センターの鍵があればいつでもセンターを利用することができます。使用料は 1 万円ですが、返却時に 5,000 円をお返ししますので、維持員の皆さんぜひ鍵を所持して、センターに来ていただければと思います。ご希望の方は鈴木 (RA : suzukijo@catvmics.ne.jp) までご連絡下さい。

今年の「**東海大会**」は

大会準備会の意向を受けて豊田エスペラント会が企画しています。

6月23日(土)午前9時50分受付で、10時から始まります。

大会会場は、東海市勤労センターです。

東海市高横須賀町柘形1-7 電話：(0562) 33-3377 (代)。名鉄常滑線 太田川駅 (特急停車) 下車、徒歩15分。または 尾張横須賀駅下車、徒歩10分。

主なプログラム

23日(土)午前中は分科会(1)があり、そのうちの東海連盟の総会では会則改定が重要な議題です

午後1時から開会式のあと、各ロンドの報告、2時には「国際大会・研修など」で夏のUK参加に備えます。

4時からは横浜UK前後に東海地方を旅する外国人エスペランティストの受け入れ情報をみなさんと交換してください。UKの楽しみ方も聞けます。夕食後8時からは宿舎で自由に歓談します(宿泊者でない方も座れます。)

24日(日)9時からグループ別に勉強します。・Espで遊ぼう(遊びながら覚えるE)・初級会話(初心者が楽しむ会話練習)・文法相談(文法の疑問を質問できます)・UK用会話(藤本達生著のテキストを使って)練習をします。

閉会式と昼食の後中部国際空港の見学します。エスペラントで実際に案内している磯部さんがセントレアを案内してくれます。

参加費は2,000円。宿泊費は3,000円(宿泊もまだ若干名の余裕があります)。食事は近くの食堂で各自でおいしいものを。

*問い合わせ先は黒柳吉隆さんへ電話 0565-58-0197 または
salikojp@ybb.ne.jp

大会準備会では、「現状を何とか改善したい」との思いで準備しています。大会は連盟会員に関係なくだれでも参加できます。

東海エスペラント連盟では、現連盟会員以外の団体も加盟できるように、規約を改正するために、改正案がすでにできています。できればこの大会中に、改正が承認され、代表者会で新体制として発足し、来年以降の大会をスムーズに開催したいというのが規約の改正検討者がもっている将来の展望です。

磯部さんの新聞記事

山田義

最近、中日新聞では毎日曜日に「味な提言」を連載している。今は磯部晶策さんの食品にまつわる話が続いている。5月13日の朝刊ではウースターソースを取り上げた。

「英国のウースター夫人が名古屋を訪れたのは1960年ごろでした」で始まって国際補助語のエスペラントにも触れている。

この記事を読んで思い出しました。ウースターさんは、私がエスペラントを学び始めて間もないころに会った数少ない外国人エスペランティストです。それから何年かあとになって我が家でもソースにはウースターという名前があることを知ったのです。朝刊ではその辺のことも食品コンサルタントの磯部さんが分かりやすく書いています。

そのころ名古屋では磯部さんの指導で歌のエスペラント訳が勧められ、私も「もずが枯れ木で」を訳しました。磯部さんの作品“Ekirinte al Bembaŝa”は6月出版予定

の「エスペラントでうたう世界の歌第1集」に収録されます。

岐阜市の千賀郁夫さんが今年2月6日肺炎のため亡くなりました。遺族の方から連絡をいただきました。

編集後記 エストニアのリディアさんからメールが週に3通ほどは来ます。もう来年の冬のために生木の廃材を買い込んで軒下に整頓しているそうです。写真は孫のFreddy君とKevin君。私は次の号のために原稿を用意し始めます。山田
Hodiaŭ estas suna vetero, +10C kaj ni eklaboris. Ni mendis lignajxon- betulojn, kaj knaboj eklaboros. Ili estas jam spertaj. Vi povos vidi, kiel altaj ili kreskis kompare je mi! Salutante, Lydia.



